平成 18 年 11 月 1 日

さい議会だより

No.135

幻想的な仏ヶ浦のライトアップ（関連記事：13 ページ）

9月定例会

平成17年度決算を認定…2 ページ

税の滞納対策は…5 ページ

ＡＬＴ招致を継続すべき…8 ページ
（外国語指導助手）

・発行 佐井村議会 ・編集 議会広報編集委員会 ・〒039-4711 青森県下北郡佐井村大字佐井字糠森 20 TEL 0175-38-2111 FAX0175-38-2492

9月定例会

平成17年度決算を認定

平成十八年第三回定例会は、九月七日から十二日までの六日間の会期で行なわれました。

村長から、平成十七年度各会計の決算認定六件、平成十八年度の補正予算五件、条例等の改正案五件、固定資産評価審査委員の選任一件が提案され、それぞれ認定・可決・同意しました。

一般会計		
歳入	二，一六〇，四一一，五一一円	
歳出	二，一一一，〇九七，三一二円	
簡易水道事業特別会計		
歳入	一九一，一四二，八八六円	
歳出	一九一，一四二，八八六円	
下水道事業特別会計		
歳入	四九五，五五四，八五五円	
歳出	四九五，五五四，八五五円	
国民健康保険事業特別会計		
歳入	四一二，九六五，四九三円	
歳出	四一二，四〇一，九二七円	
老人保健特別会計		
歳入	三五九，二四三，五五五円	
歳出	三六三，九五五，五五四円	
（差額）	▲四，七一一，九九九円	
介護保険特別会計		
歳入	一九九，三九九，六三三円	
歳出	一九〇，八八一，九九九円	

※　老人保健特別会計の不足額は、平成１８年度の歳入を繰り上げて充てています。

決算審査報告

公有財産の効率的運用を

奥本紀代表監査委員から、「歳入面では、長引く不況や基幹産業である漁業の不振により、村税の徴収率が現年度分と滞納繰り越し分の合計が前年度を下回っている。

また、奨学資金の滞納も依然として高い水準にあるため、滞納整理に努められたい。

これらの徴収率の低下は財政運営上支障を来たすことから、佐井村収納対策本部で収納率向上のための具体的な行動プランを定める等、強化対策に努めるとともに、不納欠損処分は税負担の公平を期するためにも厳正に行なうようお願いする。

歳出では、財政状況が危機的状況にあるため、財政健全化対策本部会議を開催し、全庁的に同じ問題意識に立ち、今後ともより一層効率的な行財政運営に努めること。

また、かねてからの懸案事項である公有財産の効率的運用や物品の管理体制にも万全を期すよう要望する。」との、平成十七年度決算審査報告がありました。

決算審査報告をする奥本代表監査委員

平成18年度

補正予算を可決

会　計	補正前	補正額	補正後
一　　般	23億3019万5千円	▲536万6千円	23億2482万9千円
※ 国民年金システム改修委託料		199万5千円	
下水道事業特別会計繰出金		▲1220万5千円	
牛滝診療所運営費		107万5千円　等	
簡易水道	1億3488万円	4千円	1億3488万4千円
※ 人事異動に伴う職員人件費		4千円	
下　水　道	2億7999万7千円	▲80万5千円	2億7919万2千円
※ 人事異動に伴う職員人件費		▲80万5千円	
国　　保	3億9379万8千円	2257万1千円	4億1636万9千円
※ 老人保健医療費拠出金		▲721万4千円	
高額医療費共同事業医療費拠出金		▲327万9千円	
保険財政共同安定化事業拠出金		2390万7千円　等	
介護保険	2億2016万3千円	826万2千円	2億2842万5千円
※ 高額介護サービス費		340万円　等	

固定資産評価審査委員に萬谷榮一氏

平成十八年九月十六日で、佐井村固定資産評価審査委員会委員萬谷榮一氏の任期が満了するため、引き続き同氏を選任しました。

合併の具体的方針を示せ

坂井議員　村長は住民説明会や六月定例会で、環境が整えば改めて合併を提案すると答弁している。

今でもその考えに変わりはないか。

市町村合併は避けられない問題

村　長　市町村合併は避けて通れない問題と考えているが、来年のむつ市議会の選挙が終わらないと具体的な話には入れないと考えている。

私の任期中には方向性を見出す。

具体的に示すべき

坂井議員　県では田舎館村、新郷村を重点地域に指定し、合併を推進している。

村長の言う「環境が整えば」という表現は、あいまいで抽象的である。

任期中と言うが、具体的な方針や考え方を住民に示すべきである。

住民説明会の様子（5月11日福浦地区）

村長在任中に道すじを示す

村　長　これまでの状況を見極め、自分の任期中に、村の行く道すじを示す考えである。

任期中に合併するのか

坂井議員　任期中に合併を成就させるということで理解して良いか。

そのように理解してほしい

村　長　そのように理解してほしい。

一般会計決算審査

教育行政を問う

千葉委員
教育レベルの向上を図るには、図書の補充やパソコンの指導が重要であるが、予算は十分か。

予算の措置はしていない

村長
時代に合った図書の整備等は必要であるが、予算措置はしていない。

学校がなくなった地区への配慮は

千葉委員
小・中学校の統合により七百万円ほどの歳出が削減されている。
統合された地区に対する配慮は考えているか。

子ども会と話し合う

教育次長
運動会や文化祭がなくなることから。地区住民の淋しさを考慮し、子ども会とよく話し合いたい。

部活動の遠征に支援が必要

千葉委員
佐井中学校吹奏楽部の東北大会出場にあたり、関係者が募金活動を行なった。
本来、村が予算措置すべきであると考えるが、不可能ならば募金活動を支援する体制を構築すべきではないか。

予算の措置を検討する

村長
今後は予算措置を検討する。
また、募金活動の支援はPTAの協力も得て行なっていきたい。

補食スティックを佐井小・中にも

千葉委員
高度へき地学校の福浦と牛滝には牛乳と補食スティックを国の補助で購入しているが、佐井小・中でも実施できないか。

その考えはない

教育次長
現段階では、その考えはない。

成人式に思い出の講演会を

千葉委員
成人式に、佐井村保育所で担当した保育士や在校当時の校長を講師に招いた講演会を実施してはどうか。

前向きに進める

村長
教育委員会と協議し、前向きに進める。

バスにも慣れたし、新しい友だちもできたよ

高齢漁業者対策に予算を配分せよ

千葉委員
漁業協同組合の正組合員数は二百五十人。平均年齢は六十一歳で、四十歳未満の組合員は七人だけである。
高齢漁業者への対策として、養殖や栽培漁業の推進を図るため、予算を傾斜配分すべきと考えるが。

協議を進める

村長
高齢漁業者への対策は組合長と話を進めているが、今後さらに協議を進めていく。

コンブ出荷で一服中

サケの豊漁を期待して

税の滞納対策は

島野委員
村税の滞納額は一八六五万七千円、約九％である。
国保税は三七〇〇万円の滞納繰越額を含め、四六〇九万二千円になっている。
このことをどう認識しているか。

現年度分を重視している

村長
現年度分の徴収に重点を置いているため、このような状態になっている。

皆さんの税金は
村内の学校のためにも使われています

滞納額が累積されるのでは

島野委員
村の財政は、主要財源のうち依存財源である地方交付税が六十五・二％、自主財源である村税は六・五％にすぎない状況である。
現年度分の徴収に重点を置く姿勢では毎年滞納額が累積し、増大する。
厳しい財政の中、財源を確保することは、行政運営を円滑に推進するために重要であると考えるが。

ペナルティー回避のため

参事・総務課長
国保税は、一定の徴収率を確保しなければ、国からペナルティーが科せられることを理解してほしい。
不納欠損処分も処分停止期間を設け、収能の向上に努めており、収納対策本部の有効活用に努めていく。

差し押さえ物件の処分は

島野委員
不動産の差し押さえ二件は処分されたのか。

処分できなかった

住民福祉課長
差し押さえはしたが、処分はできなかった。

競売はできないか

島野委員
不動産の差し押さえ処分は、正式な競売手続きを経て実行できないのか。

一件の実施を予定している

住民福祉課長
試みに、一件の実施を予定している。

国保被保険者へ説明が必要

島野委員
国保税は、税負担の目的を被保険者に説明したうえで、今後の不納欠損処理にあたるべきである。

公平な立場で徴収にあたる

村長
税は国民の義務であるという認識に立ち、一生懸命納税している人に不公平感がないよう、公平な立場で徴収事務にあたる。

新しい商業活性化施策を

竹内委員
大佐井仲町商店街の火が消えかけている。
新しい商業の活性化施策を検討してほしい。

商工会と協議する

村長
今後、商工会とも十分協議していく。

大佐井仲町商店街

9月1日にオープンした『おっかの店』

地域イントラネット光ファイバーで 通信不能を解消せよ

川岸委員
廃校になった長後、磯谷、原田の各校には地域イントラネットの光ファイバーケーブルが敷設されていた。今後の取り扱いは。

各地区集会所に敷設する

参事・総務課長
各地区集会所に敷設し直す。
長後地区は来年度実施し、磯谷、原田地区は平成二十、二十一年度に実施する計画である。

携帯電話の通話可能に

川岸委員
宮城県加美町では、NTTドコモに光ファイバーケーブルを貸し、携帯電話の通信不能地域の解消を図っており、二百万円程度で実施している。
下北でも、川内や脇野沢地区は佐井村と同じ状況にあるため、広域的にドコモと協議できないか。

運営協議会に諮る

参事・総務課長
現在、ドコモ、au、関係機関に携帯電話の通信不能地域解消の陳情を行なっている。
むつ市情報システム課長が来村した際に村の実情を説明し、むつ下北情報ネットワーク運営協議会に諮ってもらうよう要請している。

地域イントラネットのキオスク端末

三上剛太郎生家 一般公開に工夫必要

川岸委員
三上剛太郎先生の生家が一般公開されているが、殺風景であると感じる。
三上家を保存し、赤十字の精神を伝えるとすれば、もっと工夫が必要と思う。

資料が不足している

村長
三上剛太郎先生を讃え、博愛の精神を伝えていくためには資料不足である。
先般も親族の方とお会いし、資料の提供をお願いしているところである。

役場前に赤十字旗の掲揚を

川岸委員
三上家の展示品を手づくりしたり、写真の説明に家系図を添えたりすれば分かりやすくなるのではないか。
また、『赤十字の旗ひるがえる里』として、役場前に手縫いの赤十字旗を模したものを掲げてはどうか。

三上家前にも掲揚する

村長
三上家の前にもポールを立て、手縫いの赤十字旗を模した旗を掲げる予定である。

アイディアを出しがんばってほしい

川岸委員
三上家の保存による観光振興はもちろん、経済の波及効果も大きいと思う。
もっとアイディアを出し合い、がんばってほしい。

努力する

村長
入館者も一千人に達しようとしている。
なお一層の努力をしていく。

当時の診察室が再現された三上家

～～下水道事業特別会計決算審査～～

加入促進の対策を

島野委員
磯谷地区の下水道加入率は十％に満たないようである。
加入率が向上しない原因は。

原因を精査している

村　長
供用開始したばかりであるためか、行政の説明不足のためかを庁内で精査している。

費用の助成検討できないか

島野委員
加入を促進するため、トイレの改善費の利子補給等、規則の改正を検討できないか。

考えていない

村　長
今現在、規則の見直しは考えていない。

住民へ説明する

産業建設課長
加入促進のため、今以上に地区に足を運び、住民の理解に努める。

費用の助成検討できないか

竹内委員
下水道事業に対する住民の意識が低いように思われる。
県の補助政策はないのか。

補助制度はない

村　長
合併浄化槽への補助制度はあるが、それ以外、個人への補助制度はない。

きれいな海を守るためにも下水道へ加入を
（磯谷地区）

一般会計補正予算審議

大型魚礁で雇用確保を

宮川委員
地域水産物供給基盤整備事業で大型魚礁を製作し、投入している。
この事業は漁師のみの事業ではなく、雇用促進にもつながる事業であることから、継続すべきである。

雇用促進と漁業振興が可能

村　長
この事業は村の負担がなく、雇用促進が図られ、さらに、漁業振興も図られるというメリットがある。

製作が進む大型魚礁

下水道事業
加入を促進せよ

川畑勲夫議員

川畑議員　現在供用開始されている地区の加入状況および川目地区の計画について、その検討結果を説明せよ。

牛滝地区 加入率は90％

村　長　牛滝地区九〇・〇三％、福浦地区八二・三％、長後地区五五・六％、磯谷地区六・一％である。

川目地区は公共下水道で実施

産業建設課長　川目地区は費用、耐用年数、効果等を検討した結果、公共下水道事業で整備することを決定した。

台所だけでも加入を

川畑議員　村の下水道普及率は二十四％と低い。希望者には、台所排水だけの接続もできないか。

加入は不可能

産業建設課長　県の指導を仰ぎながら事業を推進しているが、そのような利用は認められないとのことである。

加入率を考えているのか

川畑議員　その場合、加入率が上がらないことも覚悟しているのか。

加入促進に努める

産業建設課長　加入率向上は一番の課題である。金銭面も含め、早めに説明会を開催し、加入促進に努める。

川目地区は公共下水道事業で整備される予定

人口減少対策を

川畑議員　村外に在住する団塊の世代の方々のUターンを、人口減少対策として促進する考えはないか。

県と連携し検討していく

村　長　県と連携し、具体的な対応を検討していく。

情報発信すべき

川畑議員　問題に対する取り組みが遅いと感じる。広報さい、ホームページを活用して情報を発信すべきである。

情報提供に努める

村　長　村外在住者に情報を提供できるよう努力する。

嫁対策への取り組みは

川畑議員　現在、嫁対策にはどのように取り組んでいるのか。

具体的な対策は講じていない

村　長　具体的な対策は講じていないが、行政が責任を持って若者を定住させるための環境を整える必要がある。

ウニまつり等を活用せよ

川畑議員　アルサス活性化委員会で実施しているウニまつり等を活用し、男性は嫁探し、女性は婿探しができるようなコーナーを設けてはどうか。

アルサス活性化委員会に諮る

村　長　アルサス活性化委員会にこの問題を諮り、取り組んでいく。

村外から嫁ぐ方もいるのだが・・・

つくり育てる漁業に 既存施設の活用を

川畑議員
糠森、高磯地区の大規模増養殖場の利用状況はどうなっているか。

ウニ500kgを放流

村長
昨年十月、漁業協同組合が磯焼け対策事業で糠森地区にウニ五百kgを放流している。

大盛況だったウニまつり

海の森づくり事業でコンブ、ワカメを定期的に与えられたウニは、今年のウニまつりに使用している。

大沢地区離岸堤を養殖場に

川畑議員
大沢地区離岸堤内は養殖場として活用できないか。

県との協議が必要

村長
大沢地区離岸堤内は、矢越地区の資源管理区域になっている。
つくり育てる漁業の重要性は認識しているが、費用負担と効果を検討し、県とも協議をする必要がある。

浅瀬の利用を検討せよ

川畑議員
高齢漁業者対策として、浅い場所の利用も検討してほしい。

努力する

村長
漁師の方が利用しやすい漁場をつくる努力をしていきたい。

竹内典和議員

外国語指導助手（ＡＬＴ） 招致を継続すべき

竹内議員
外国語指導助手（ＡＬＴ）招致事業を再開する予定はあるか。

来年度以降の招致検討する

村長
管内小中学校を中心に英語学習の指導にあたってきたが、今年七月で招致を断念した。
今後は、大間高校に配属されているＡＬＴを派遣していただく。
来年度以降のＡＬＴ招致は、財源確保も含めて前向きに検討する。

大間高校ＡＬＴ週２回派遣

教育次長
大間高校ＡＬＴは、毎週火曜日に佐井中、福浦および牛滝小中には隔週木曜日に派遣される。

トラヴィス先生とゲームをしながら勉強しています

事業は継続すべき

竹内議員
村内の児童・生徒は、都市部の子どもたちに比べて学校以外の教育、教養を学ぶ場が少ない。他の予算を削っても、この事業は継続すべきである。

来年度はきちんと対応する

村長
来年度はきちんと対応したいと考えている。

原田・磯谷・長後の教員住宅
処分を検討せよ

田中正行議員

田中議員
村では公有財産の処分、使用料・手数料の見直し、経費の節減に努めているが、限界である。
学校統廃合によって不用になった教員住宅を処分し、財源確保に努めるべきではないか。

佐井小・中の教員住宅に

村長
閉校教員住宅で、国庫補助の処分制限期間を経過していないものは、佐井小・中の教員住宅に充てる。
なお、処分制限期間を経過した住宅、今後経過する住宅は希望者に売却する。

村内教員住宅31戸に空きがある

制限を受ける戸数は

田中議員
制限を受けている住宅、受けていない住宅はそれぞれ何戸か。

20戸のうち9戸

教育次長
閉校教員住宅は二十戸。そのうち、制限を受けている住宅は九戸、受けていない住宅は十一戸である。
制限を受けている住宅でも補助金を返還すれば、自由に処分できる。

防災訓練
大地震を考慮した訓練を

田中議員
昨年実施された防災訓練には多くの参加者があった。
今回の防災訓練では、事前に分団との協議はなされたのか。

各分団に伝えている

村長
今回の防災訓練は九月二十四日に実施する。
訓練内容は各分団に伝えている。

消化器を使った初期消火訓練

村指定の避難所は安全か

田中議員
村が指定している各地区の避難場所は、大津波が発生しても安全か。

訓練で判断力を養ってほしい

村長
訓練により、災害の状況で臨機応変に避難場所を選択できるような判断力を養ってほしいと考えている。

防災計画を作成する予定

参事・総務課長
日本海溝、千島海溝地震災害に対応し得る防災計画を作成する予定である。

耐震診断は行なうのか

田中議員
耐震診断を行なう公共施設はあるか。

牛滝小中を予定している

村長
旧耐震基準による非木造二階建て以上の施設は牛滝小中、役場庁舎である。
牛滝小中は耐震診断を行なうが、役場庁舎は財政状況を見極めて実施する。

消防センターの建設を優先すべき

田中議員
今後、消防センターや保育所の建設が計画されているが、消防センターの建設を優先すべきである。

努力する

村長
期待に応えるよう努力する。

人口減少・小子化対策は

千葉議員　村の人口減少が急速に進んでいる。

少子化は村の存亡に係わる問題であるが、その対策は。

計画に基づく施策を実施する

村　長　少子化の背景には晩婚化、未婚者の増加、若者の村外への流出等がある。

次代を担う子どもたちが健やかに育つことのできる環境整備を図るため、次世代育成支援地域行動計画を策定し、年齢に応じた施策を実施する。

千葉悦治議員

5年間で400人の減

千葉議員　平成十三年の人口は三一四四人、五年後の今年七月末では二七七五人で、約四百人減少している。

このままでは村が存続できるのか疑問である。危機感を持って施策を打ち出すべきである。

効果はすぐには出ない

村　長　対応の遅れはあるが、施策を講じてもすぐには効果が出ない、厳しい状態にある。

アンパンマン大好き！

施策を講じず、効果も出ていない

千葉議員　施策を講じていないから効果が出ていないのではないか。

この問題を、行政の問題として認識すべきである。

検討していく

村　長　質問の趣旨は十分理解しており、対応についても十分に検討していく。

雇用確保で安定した生活を

千葉議員　住民は雇用、仕事への大きな不安を抱えている。

村としてどのような雇用対策を実施してきたのか。また、今後どのような対策を考えているのか。

指定管理者制度で雇用を確保する

村　長　村では㈱北進機工を誘致し、三十八名が雇用されているほか、民有林の刈り払い、ニホンザル追い払い、村道草刈事業および指定管理者制度の導入で雇用の創出を図っている。

今後も指定管理者制度による雇用の確保を図る。

住民約40人が雇用されている㈱北進機工

水産振興基金を活用せよ

千葉議員　水産振興基金を活用し、育てる漁業を成功させ、漁業者の生活の安定を図るべきではないか。

関係団体等に相談している

村　長　漁業者が安定した収入を得るため、水産振興基金の活用を電源開発㈱本社にも相談している。

養殖事業等の推進は、漁業協同組合とも相談をしている。

健康づくりで予算の抑制を

ゲートボールで体を動かしましょう

千葉議員　老人保健、介護、国保会計予算抑制への具体的な対策を示してほしい。

保健指導等を行なっていく

村長　医療給付費や介護給付費の軽減は必要である。

基本健診の受診率向上、健康指導の徹底等、保健指導を行なっていく。

また、生活習慣病予防のための運動の定着化、食生活の改善等に取り組む。

一貫教育を実施すべき

千葉議員　地元から小・中学校、高校に通った子どもたちに、これだけは人に負けないという、人生の自信となるものを一貫教育で身に付けさせる必要があると考えるが。

全国でも試行の段階

村長　一貫教育が知・徳・体のバランスの取れた児童・生徒の育成にとって効果があるかどうかは、先を見なければ分からない。

効果は不明瞭

教育長　一貫教育は全国的にも研究、試行の段階であり、効果は十分に検証されていない。

村内の子どもたちは、他人を思いやる豊かな心を持ち、都市部の子どもたちよりも優れた面はあると思っている。

子どもたちに自信を

千葉議員　子どもたちに自信を持たせる施策を講じることも大事だと思う。

特色ある教育が行なわれている

村長　佐井中吹奏楽部は県代表、佐井小野球部は下北代表として大会に出場、個人でも陸上競技でジュニアオリンピックに出場する選手もいる等、特色のある教育が行なわれており、今後さらに推進していく。

少人数でも素晴らしい演奏！（佐井中吹奏楽部）

医療系低レベル放射性廃棄物処分場誘致するのか

千葉議員　医療系低レベル放射性廃棄物処分場の誘致について、村長の対応を説明してほしい。

財政安定の手段として

村長　村の財政の安定を図る一つの手段として考えている。

誘致を推進するのか

千葉議員　村長は推進するのか、しないのか。推進する場合、速やかに行動を取るべきである。

住民の合意が前提

村長　誘致活動を行なうかは別問題として、検討に値する事案であると考えている。

誘致するか、しないかの判断は、住民の合意が前提である。

追跡質問

『ほくと』の活用について

村のためにも会社と協力せよ

竹内議員　シィライン㈱の戦略として、佐井村の海産物や活魚を海路で青森市の市場に出せないか、青森公立大学の学生とともに調査し、その可能性を模索している。

漁業協同組合からは「協力します」との返事のみのようだが、村として開発をお願いする考えはないか。

調査に協力している

村　長　学生たちは二回に亘って村を訪れ、脇野沢や川内にも離島航路『ほくと』を利用した物流についての基礎的な調査をしている。

村でも調査には全面的に協力している。

積極的に取り組め

竹内議員　村を売り出す良いチャンスであるので、共同参画し、積極的に取り組んでほしい。

物産開発に努力する

村　長　シィライン㈱は、来年十月に冷凍・冷蔵庫を備えた新造船就航を目指しており、地域経済の活性化に努めようとしている。

行政でも物産開発に努力していく。

青森市と下北の架け橋『ほくと』

追跡質問

仏ヶ浦ライトアップ事業について

管理協力金で財源の確保を

千葉議員　仏ヶ浦のライトアップを試験的に実施したようだが、その結果をふまえ、来年度も実施するのか。

問題点があったが継続して実施する

村　長　照明の光量が足りない等の問題点があったため、反省部分を整理し、来年度も継続して実施する。

管理協力金　来年度実施か

千葉議員　財源確保のための「仏ヶ浦管理協力金」徴収は、来年度実施できるのか。

できれば実施したい

村　長　観光船利用者からの徴収は問題ないと思うが、陸域部分の徴収に不安がある。

観光協会や観光船業者の協力を得て、できれば来年度から実施したいと考えている。

環境保全協力金は募金として実施している

追跡質問

消防センター建設について

完成はいつ？

千葉議員　消防センターの建設は、計画の規模縮小が予定され、いつできるか不明瞭である。

来年度は完成するのか。

三法交付金の使途を検討

村　長　三法交付金の使途を含め、二ヶ月以内に議会と相談する。

水圧にも負けません！（牛滝地区防災訓練）

追跡質問

原発新型交付金について

10年間で60億円の交付か

千葉議員　国は、原子力発電施設関係の新交付金を十年間で六十億円交付することを決定したようであるが。

正式決定ではない

村　長　大間町長の説明によると、この六十億円は政府に概算要求しただけのものであり、正式な決定額ではないという。

追跡質問

市町村合併について

村長の意志を示せ

千葉議員

合併が不調に終わり、村長は当面単独での道を歩むと言っている。

しかし、村長の態度が不明瞭なため、住民は不安を抱いているようだ。

村長のリーダーとしての意志を示してほしい。

住民の不安を取り除いていく

村長

住民及び村職員が不安を抱いていることは承知している。

早い機会に不安感を取り除けるような行動を取る。

夜間議会26人傍聴

九月八日、夜間議会（一般質問）を開催したところ、二十六人の皆さんに傍聴していただきました。

追悼の辞

前村長
元議長

東出昇氏ご逝去

平成十八年九月十一日、ご逝去せられました。ご冥福をお祈りいたします。

お別れの言葉

議長

東出昇前村長は私どもの大先輩であり、議会議長としても温厚な人柄をもって遺憾なくその手腕を発揮され、真に民意を代表した議会人として、村政の壇上に縦横無尽の活躍をされました。

また、村長として仁愛の精神を貫いた名誉村民、三上剛太郎先生の意志を村づくりの基本精神に赤十字の旗ひるがえる里づくりに取り組む等、貴方が村政発展のために捧げられました尊い精神とご功労は、とこしえに佐井村史の上にとどめられるものと存じます。

私ども議員一同は佐井村を愛し、人にやさしい地域づくりに挺身された貴方の尊い信念を継承し、及ばずながらも社会の発展、村政の進展に尽くす決意をさらに固め、ここにお誓いするものであります。

村長

勲四等瑞宝章 前佐井村長 東出昇殿のご逝去の報に接し、ご生前のお姿を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

東出昇殿は、昭和三十八年から昭和五十八年一月まで佐井村議会議員を勤められ、昭和四十九年二月から昭和五十八年一月まで議会議長の要職に着かれ、その後佐井村長として地方自治の進展、産業基盤の強化と振興に多大なるご貢献なされました。

不肖、私が村議会の末席を汚すようになりまして、日夜、東出昇殿の円満な人格に接し、大きな感化を受けてまいりましたが、私の感銘いたしましたことは、この温厚篤実な方が内に火のような情熱と正義感を持って終始されたことであります。

故人は正に内剛外柔の人でありまして、自分に対してはあくまでも厳しく、他人に対しては誠に寛大でありました。

村長就任以来、村のために文字どおり粉骨砕身、東奔西走して尽くされていたことは私が言うまでもありません。

私ども村民が当村の大恩人を失いました悲しみは、誠に何と申して良いか筆舌尽くし難いものがあります。ただただそのご霊前に深く感謝の頭を垂れるばかりでございます。

故人の残された、赤十字の旗ひるがえる里づくり等の大きな業績の基礎の上に故人のご遺志を継いで、村民一致協力して達成することを誓うものであります。